

台東区区民憲章策定区民会議 班別討議のまとめ

平成 1 8 年 1 月
台東区区民憲章策定区民会議



目次

- 1 . 区民憲章について P 1
- 2 . 班別会議の検討内容 P 6



1 . 区民憲章について

(1) 区民憲章の意義

- 良いことを考え、良いことを唱え、良いことを行うことにより、区民の心が明るく健康になる。

法律は「一部の不心得な人間の悪事によって世の中が悪くなるのを抑止する」ことはできても、「大多数の人間の善意や努力によって世の中が良くなるのを促進する」ことはできない。

- 幼い子どもからお年寄りまで、まちづくりに参加しようとする意欲が無理なく喚起される。

単なる制度や利害関係による参加は長続きしない。
好ましい人間関係やネットワークが形成される。



(2) 区民憲章の位置づけ

- 区民憲章の役割は、自治基本条例・総合計画・都市宣言の役割とは全く異なることを認識することが重要。
- 区民憲章は、区民生活の目標や理想(・願い)であり、区民がそれを主体的に実践するもの。

【参考】 自治基本条例

自治体運営のための基本理念と、それを実現するための制度・権利・義務・手続を詳細に規定する法規範。法令的厳格さが求められる。

総合計画（基本構想）

目標期間内の区政について規定し、全ての分野を網羅する必要がある。区民憲章は、目標期間を設定せず、半永久的に大切にしたいことだけを掲げれば良く、分野の網羅性は必要ない。

都市宣言(平和都市宣言、健康都市宣言等)

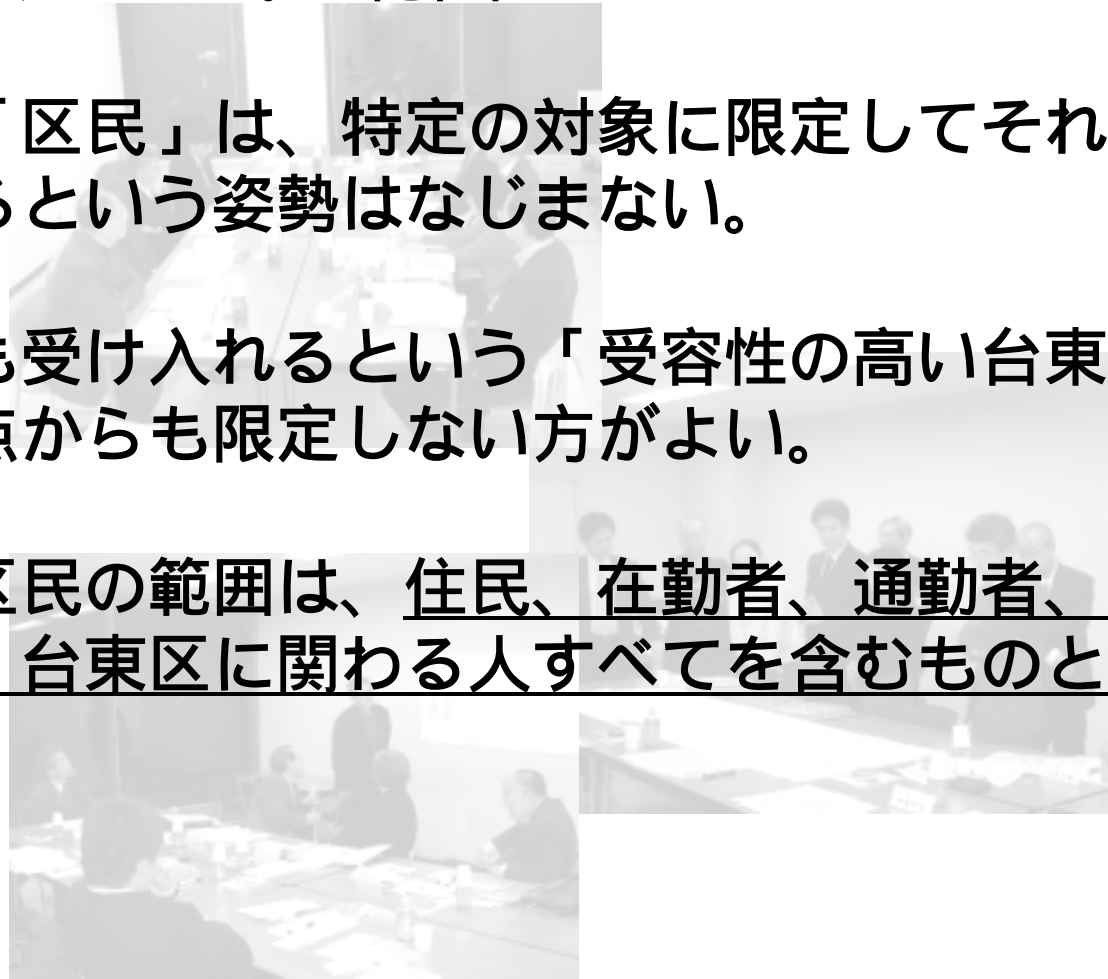
特定のテーマについて、市の考え方や市政の方向性を、市民及び市外に対して表明するもの。テーマ性や外部に対する姿勢表明が重視される。



1. 区民憲章について

(3) 区民憲章における区民の範囲

- 区民憲章における「区民」は、特定の対象に限定してそれ以外の人を排除するという姿勢はなじまない。
- 分け隔てなく誰でも受け入れるという「受容性の高い台東区の区民性」の観点からも限定しない方がよい。
- 区民憲章における区民の範囲は、住民、在勤者、通勤者、来街者等を含んで、台東区に関わる人すべてを含むものと考えたい。



(4) 区民憲章の実効性

- 抽象度が高い言葉は、具体性が乏しい反面、人によって様々な解釈が可能となるという側面(メリット・利点)も併せ持つ。
- 区民憲章の文言は、抽象度が高いからこそ、様々な人々の想像力や行動意欲をかきたてることができる。
- そのため、区民憲章では、抽象度が高くとも、「心が動く」「心が弾む」「心が温かくなる」言葉を大切にしていることが重要。
- 区民憲章の策定を契機とし、ボランタリーな市民活動が活性化され底上げされる。



(5) 区民憲章に基づく推進活動

- 区民憲章の目標とする姿の実現に向けて、様々な推進活動が必要となる。
- まず、多くの区民に区民憲章の意義と役割をしっかりと理解してもらうことが第一。
- 区民憲章の趣旨に基づき、区民や地域の個性が活かされた具体的な実践活動とすべき。
- 官民一体となった区民憲章の普及・啓発が必要。



区民憲章を区民共通のものにする仕組み作りが重要。

2 . 班別会議の検討内容

< 第 1 班 >

大切にすべき台東区の特長や価値観(台東区らしさについて)

- 歴史の重みを背景として、文化レベルにまで根付いている独自の町らしさ
- 人々を惹きつける街の賑わいと質の高い文化の蓄積
- 地域によって異なる土地柄の多様性
- 都心でありながらも豊かな水と緑
- 地域の魅力と活力の源泉となっている支え合いの区民性
- 創造性豊かな人材の豊富さと独自の技術を有する職人の町としての蓄積

憲章が目指すべき取り組みの方向性(将来に向けて実現したいもの、誇りたいもの等)

- 歴史的資源や文化資源の活用による活気と賑わいの創出
- 「いき」な心の継承や区民の生きがいづくりによる地域の魅力の向上
- 水と緑を生かした潤いある地域づくり
- 豊かな近所づきあいを守り、育むことによる、安心して暮らせる地域づくり



< 将来に向けて実現したいもの、誇りたいもの >

憲章の「前文」に盛り込むべき、大切にすべき台東区の特性や価値観

憲章の基本的理念、方向性

したまち 自律
ぬくもり 私達が主人公
私の愛する町

風情・風雅 いきいき
いつまでも 元気と勇氣
休らく(休らぎ) 大切に
地球上に戦争のない平和な日を永遠に

まちなみ、にぎわい

浅草寺、雷門の賑わい 浅草、上野の賑わい わがまちまちかど
にぎわい いきいき 世界の人々が集まる雷門浅草寺
地域によって全く違う顔をもつ多様性 浅草、浅草寺、三社
安全で清潔なまちを目指したイメージアップを目指すべき

歴史・伝統

江戸の文化 豊かな歴史的資産
多くの文学者・芸術家が住み、作品の舞台にもなった区に誇り

ありのままの歴史の継承 江戸時代からの文化・著名人を輩出した文化的土壌の豊かさ

伝統を残す 古きと新しき 明治、大正、昭和の風が路地を心温かく通り抜ける谷中
古きをよみがえらせ新しきを創り出す

旧岩崎邸のゴシック建築(イギリスのコンドルの設計) 歴史の重みに裏打ちされた独自の町文化

歴史を語りつくす 観音様 花柳界(芸者・伝統芸能)の集積
生きがい 職人の誇り 猿若三座、浅草六区による大衆芸能の発信

文化資源

上野の社 さまざまな地方文化の吸収による文化の多様性
史跡や文化の香りいっぱいの上野の山は誇り
上野の山の国立等の文化施設

水と緑

上野の山、隅田川、桜など都会にありながら豊かな水と緑 緑の上野・水の墨田
隅田の流れ(川)(水) きれいな空と緑
水きよき隅田川と不忍の池は区民の憩の場

憲章の「本文」に盛り込むべき、憲章が目指すべき取り組みの方向性

「いき」な心の継承

心意気 もてなしの心 教養・文化
粋 城 いき・意気・活き・生き・息・粋・心意気 感性豊か
区民性(心・気持ち) 地域に誇りと自信を持ちつづけること
教養の深い心豊かな人に

安心して暮らせる地域づくり

安全・安心なまちづくり 安全 安心 ごみのリサイクル
防犯は自らの手で 防災互助
夜回り見廻り 住民主導の災害に強いまちづくり
子育て支援 思いやりの心を大切に
住み続けられる

豊かな近所づきあいを守り育む

おせっかいやきの区民性 隣り近所で助け合う明るいまち コミュニティ(組織・集まり) あいさつ集いの輪 下町としての風情と身近な近所づきあい
だれでも分け隔てなく受け入れる受容性の高さ パートナースHIP 支えあい、助けあい、助けあう 笑顔とあいさつ 道行く人にも挨拶を
高齢化社会に優位性となる支えあいの文化 葬祭にみる地域住民の支援・協力体制 住民どうしのネットワーク 住民どうしのネットワーク
コーポラティブ方式 シニアボランティア つながりの輪の中に つながりの輪の中に ありがとうという感謝の心 ありがとうと感謝の心
たがいに(おたがいを) 人との絆

あいさつ集いの輪 笑顔とあいさつ 道行く人にも挨拶を おかげさまでよかったと感謝の心 ありがとうという感謝の心 ふれあいの町 人との絆

下町としての風情と身近な近所づきあい 住民どうしのネットワーク マナーを守り住みやすい町 住民の顔がみえる 明るい家庭 家族

いきがいくり

働きがい、生きがい 生きがい 支えあい 高齢者の生きがい
生涯スポーツ、いきがい 働くこと
希望、未来性 元気な高齢者
若者よ、大きな希望を持って 感動
うきうき・躍動・いきいき・わくわく

潤いのある地域づくり

心の故郷・わが郷土が町 豊かな軒先の緑の継承を目指すべき
心が潤う緑の多いまち 笑って暮らしましょう。健康のもと
ハートの型の台東区 和む、和み、心地よさ
花いっぱい運動

2 . 班別会議の検討内容

< 第2班 >

大切にすべき台東区の特長や価値観(台東区らしさについて)

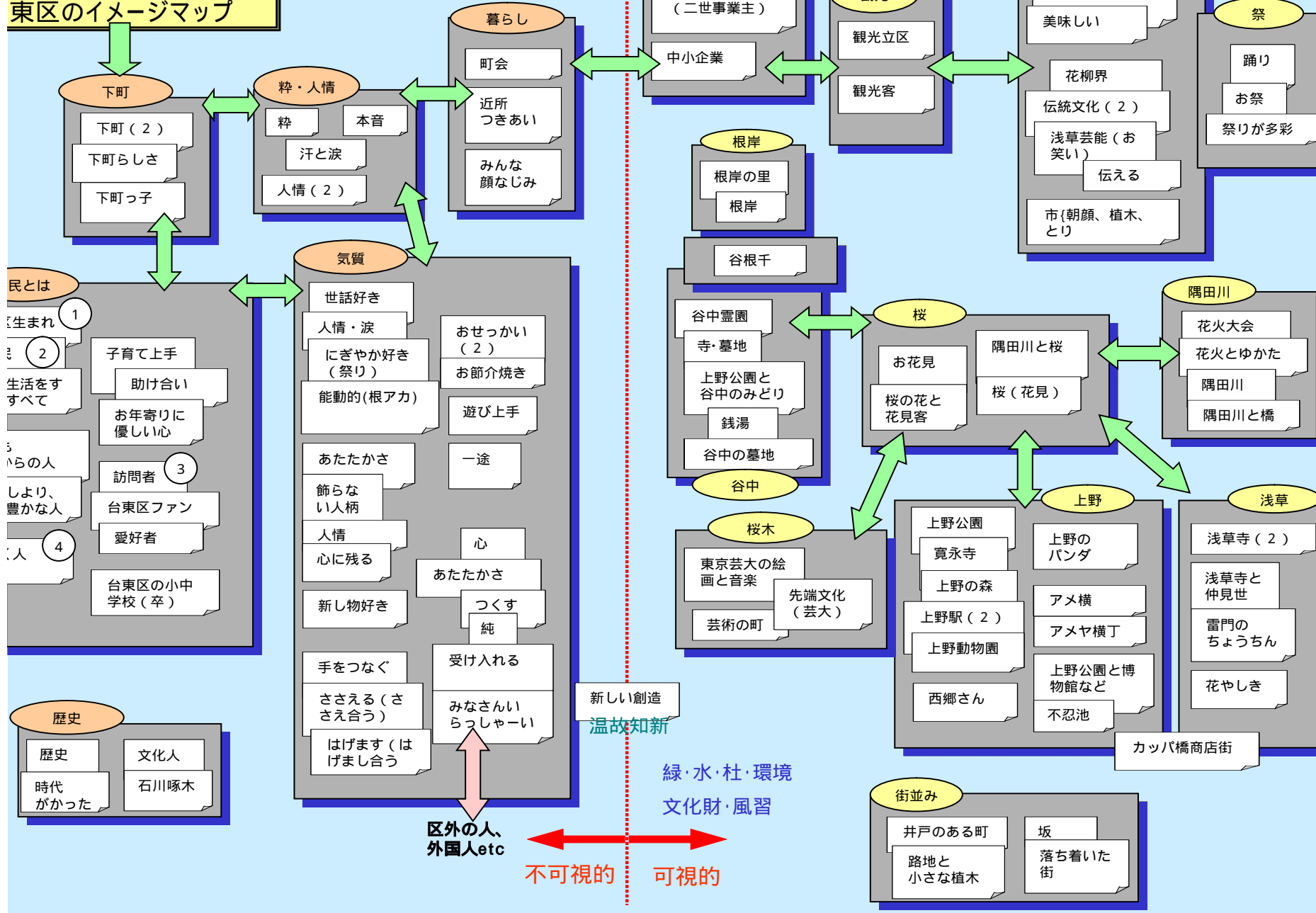
- 個性の強い地域が多様であり、台東区として1つの「らしさ」を打ち出すのは困難
- 「世話好き」・「お節介」・「粋・人情」といった言葉に代表されるような気質と生活文化
- 上野公園を中心とした自然資源と文化芸術施設の集積
- 観光や伝統文化を育み、暮らしを支える地域の産業

憲章が目指すべき取り組みの方向性(将来に向けて実現したいもの、誇りたいもの等)

- 現状の台東区のイメージのうち、「次世代に残したいもの」を掲げる憲章がよい
- 憲章の内容については、その文言と同時に策定後の推進活動の内容が重要
- 「生業(地場産業・伝統産業)」「心意気(粋・やさしさ)」「まち(おせっかい・助け合い)」により創られる「暮らしやすさ」の維持・発展
- 「祭」・「生業」・「自然」・「文化・芸術施設」により創られる「伝統・文化」の維持・発展
- キーワードとしては「おせっかい」「袖擦れ合う」「自ら育む」「先人の知恵」「よってたかって」「町会単位のつながり」など



東区区民憲章策定区民会議
 班別会議第2班
 平成17年10月28日作成
東区のイメージマップ



台東区区民憲章策定区民会議
 班別会議第2班
 平成17年12月7日作成
将来に残したいもの・実現したいもの
 ~区民憲章に盛り込みたいこと~

豊かな自然

- 上野の森の豊かさ
- 上野公園のみどり桜並木など区内の樹木の保存
- 最高の生活環境（緑の多い街づくり）をつくる
- 季節を感じさせる自然
- 心を美しくする風景

文化・芸術施設

- 上野公園内の文化施設（博物館・美術館・芸大等）の移転反対
- 遺跡・寺社の保存
- シンボルとなる建物や名称

観光

- 世界の人々が集まる街（世界一の観光地にする）
- 誰をも受け入れる接客の心
- 大好きな街

職人・産業仕事の仕方

- 経済力もNO.1（多数の産業の集積地）になる
- 職人の技の継承と育成（指物・刷り師等）
- 手を動かし汗して生み出す職人の仕事

伝統・文化

- 先人の創った文化の香り
- 古いものの良さ
- 伝統文化
- 芸術文化
- かつて日本の裏玄関と呼ばれた台東区は裏日本の文化集積発展のリーダーとなる
- 古い家並み（木造に限らず）の保存と管理
- 芸術の町
- 地域にある昔ながらの言い伝え、出来事の継承
- 新旧文化を融合、昇華させ、世界に冠たる文化ゾーンになる

祭・イベント

- 明るい気持ちになることができるイベント
- 季節ごとの催事
- 祭の賑わいと行事の継続（市・縁日を大事に）
- 祭のパワーアップ・国際化（リオのカーニバルの如く）（三社が国際語になるくらい）を図る

暮らしやすさ

- 横町・路地の保存と利用
- 情緒ある街並み
- 子育てしやすい環境
- 暮らしやすさ
- 都内NO.1の福祉充実度がある地域になる
- 最高の教育が行われている地域（優秀な頭脳の集積地）にする

地域の住まい方

- 心配する近所の目
- 近所つきあい
- 近隣の多少のおせっかいと年寄り・こどもを大切にすること
- 近所の付き合い（町会・子どもなどを通してのつながり）
- 心をわかって話をできる人々世代間の絆

近所づきあい

- 温かい心
- 日本人の持つ温かさ
- 助け合い 助け合う気持ち（精神風土）
- 助け合い
- さりげない思いやりの習慣
- 誘い合うおせっかい
- 顔見合わせてのひとこと（あいさつ）

暮らしの中で生まれ、守ってきた自然（二次的な自然）

魅力的な街

職人・産業仕事の仕方

生業

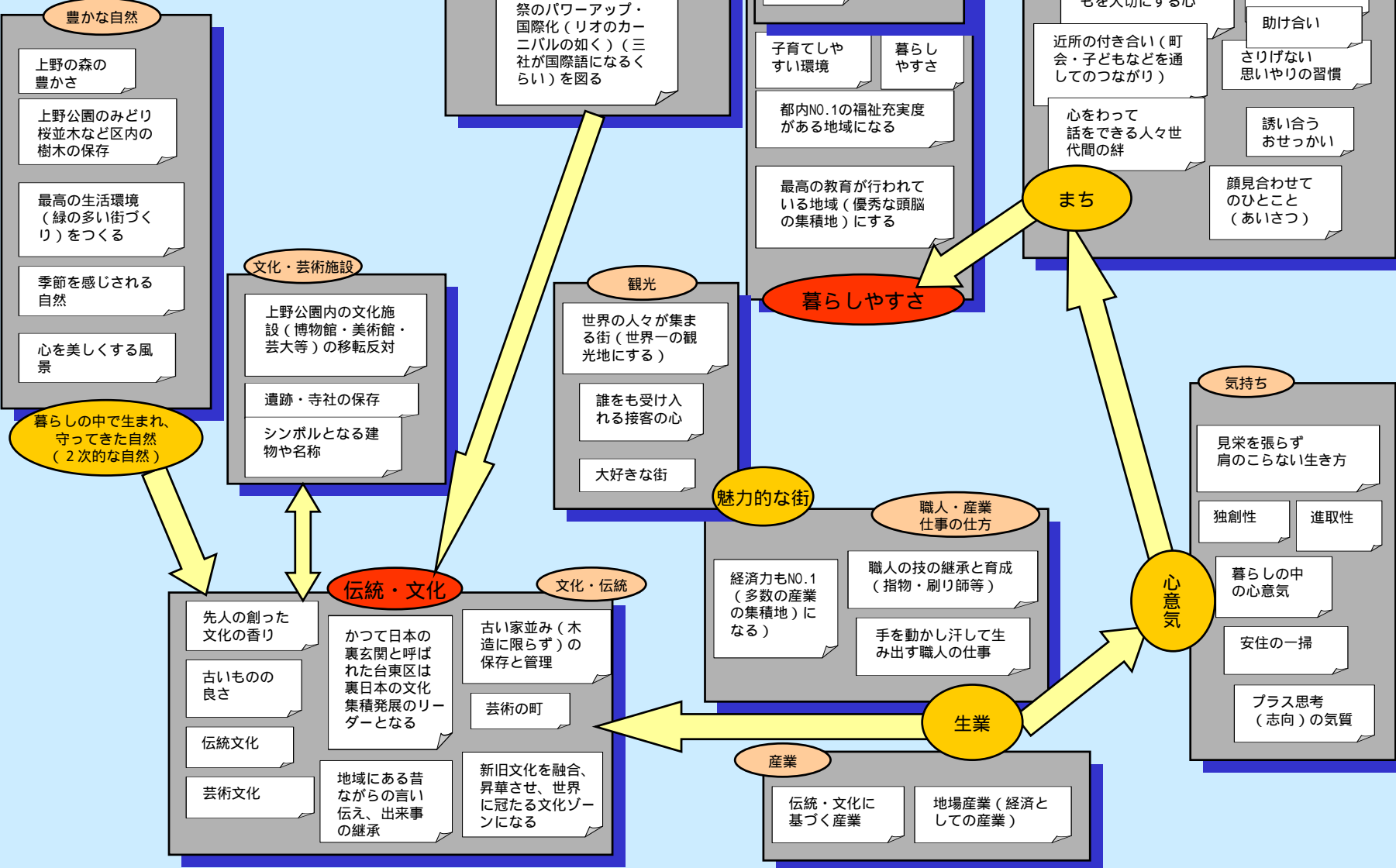
産業

まち

暮らしやすさ

気持ち

心意気



2 . 班別会議の検討内容

< 第3班 >

大切にすべき台東区の特長や価値観(台東区らしさについて)

- 多様な地域特性を持つまちで構成され、台東区のイメージを一言で語ることは困難
- 第一に挙げられる高い価値を持つ歴史、有形無形の文化、文化の殿堂
- 上野駅に代表される玄関口としての拠点性、祭りや観光施設による集客性
- 問屋街など特徴的な商店街・買い物場所
- 近所づきあいや地域への誇り・愛着心といった、住民気質や地域コミュニティに支えられた生活感のあるまち

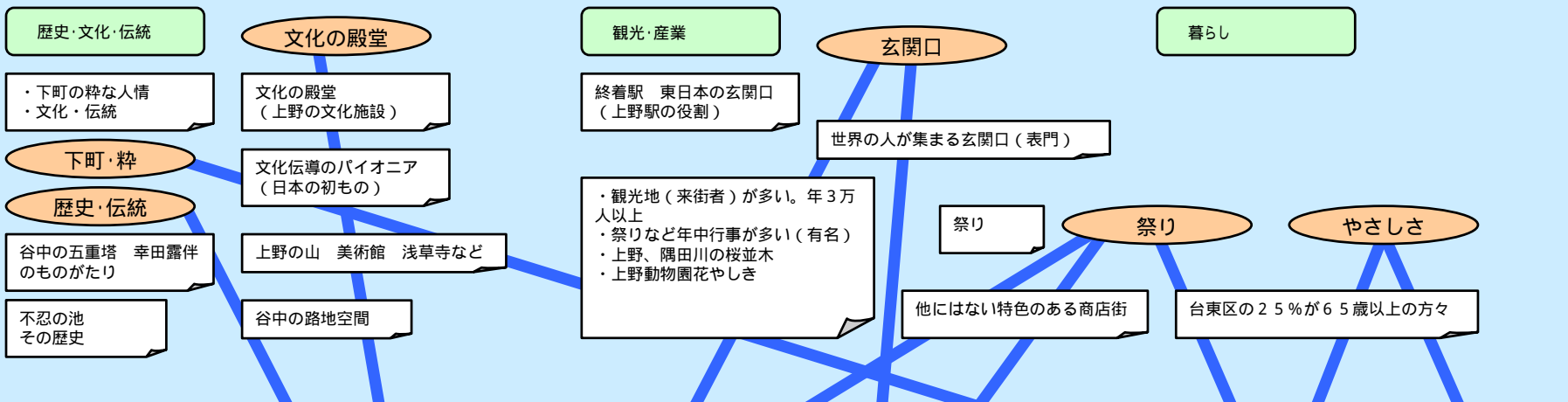
憲章が目指すべき取り組みの方向性(将来に向けて実現したいもの、誇りたいもの等)

- 優しい言葉、若者にも伝わる魅力的なわかりやすい表現
- 実践活動を踏まえた納得度の高い内容
- 「おもてなし」の心による「にぎわい・いきいき」や「きれいなまち」の実現
- 「いたわり」の心による優しいまちの実現
- 「暮らしやすいまち」「住み続けられるまち」「安心・安全なまち」の実現
- キーワードとしては「おもてなし」「いたわり」「にぎわい いきいき」「潤い」「ゲストからホストへ」など(日常生活で使用する言葉が親しみもありふさわしい)

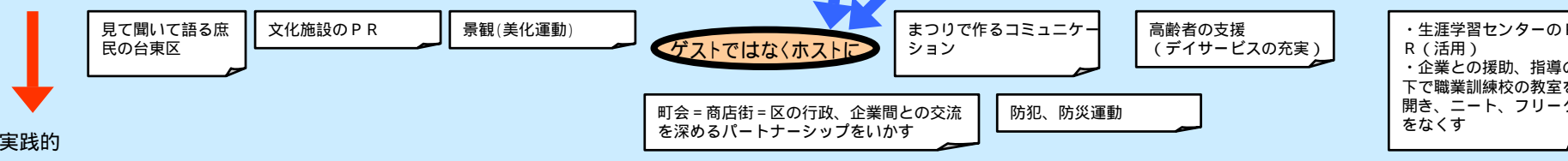
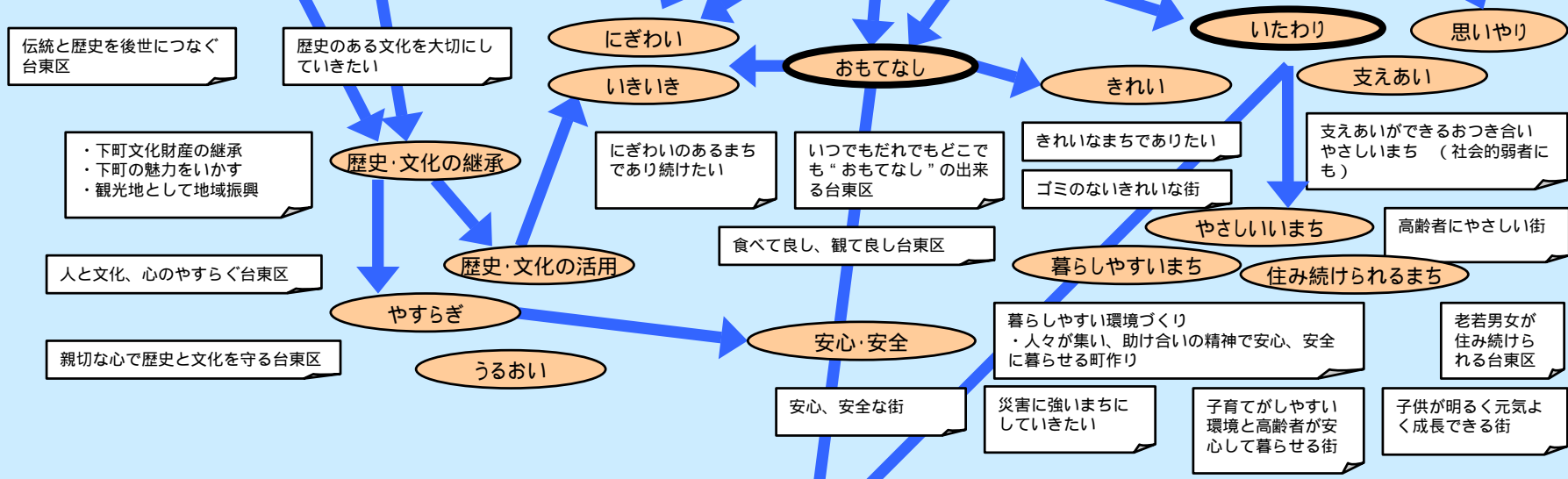


< 将来に向けて実現したいもの、誇りたいもの >

憲章の「前文」に盛り込むべき、大切にすべき台東区の特長や価値



憲章の「本文」に盛り込むべき、憲章が目指すべき取り組みの方向性



実践的